



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 東洋鋼板株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5453 URL <http://www.toyokohan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 厚夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 大谷 憲史

TEL 03-5211-6200

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	29,177	△3.4	1,335	△47.1	1,364	△46.9	883	△44.4
23年3月期第1四半期	30,190	24.3	2,525	—	2,572	—	1,589	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 955百万円 (△43.3%) 23年3月期第1四半期 1,684百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	8.77	—
23年3月期第1四半期	15.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	118,619	77,975	64.4
23年3月期	121,068	77,432	62.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 76,418百万円 23年3月期 75,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想については、本日(平成23年7月28日)公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,800	△4.4	2,300	△55.6	2,400	△53.3	1,600	△51.3	15.88
通期	121,200	1.7	6,000	△15.7	6,200	△12.6	4,100	18.6	40.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想については、本日(平成23年7月28日)公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、【添付資料】4ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	100,800,000 株	23年3月期	100,800,000 株
24年3月期1Q	45,060 株	23年3月期	44,606 株
24年3月期1Q	100,755,091 株	23年3月期1Q	100,757,914 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災以後のサプライチェーンの立て直しや生産活動の回復に伴い景気の持ち直しが期待される一方で、電力供給の制約や原油高等の影響により景気が下振れするリスクも存在しており、依然として予断を許さない状況にあります。

鉄鋼業界は、4月以降、家電販売・建築着工に回復の動きが見られ、自動車生産正常化の見込みも当初の予想より前倒しされていますが、原材料価格の高騰、円高懸念、東アジアにおける供給力の拡大などの競争条件が激化しており、厳しい状況が続いています。

このような中で当社グループは、販売部門の責任の明確化と間接部門の生産性向上、グループ企業との連携、協業強化を軸に、収益目標の達成に向けグループを挙げて取り組みました。

以上の結果、売上高は291億77百万円となり、営業利益は13億35百万円、経常利益は13億64百万円、四半期純利益は8億83百万円となりました。

第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

売上高	291億77百万円(前年同期比3.4%減)
営業利益	13億35百万円(前年同期比47.1%減)
経常利益	13億64百万円(前年同期比46.9%減)
四半期純利益	8億83百万円(前年同期比44.4%減)

第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)における事業別の概況は次のとおりです。

①鋼板関連事業

売上高	231億25百万円(前年同期比5.5%減)
営業利益	3億97百万円(前年同期比75.2%減)

<缶用材料>

飲料缶材・工業用缶材は、夏季の電力制限に備えた需要家の前倒し生産の影響により、前年同期を上回りました。食料用缶詰向けは、需要の低迷により前年同期を下回りましたが、缶用材料全体では比較的堅調に推移しました。

<その他の材料―電気・電子部品、電池材、自動車・産業機械部品、建築・家電向け>

電気・電子部品向けは、電池材がノートパソコン用リチウムイオン2次電池用途で回復の兆しが見え、アルカリ電池用途に一時的な需要の急増が見られたものの、前年同期を下回りました。

自動車・産業機械部品向けは、自動車産業の大幅減産でハイブリッド車用途が低迷しましたが、産業機械部品向けは堅調に推移しました。

建築・家電向けは、ユニットバス内装材が需要の持ち直しにより、前年同期並みまで回復しました。冷蔵庫扉材は、エコポイント制度の終了の影響もあり、前年同期を下回りました。

②機能材料関連事業

売上高	47億89百万円(前年同期比13.5%増)
営業利益	7億37百万円(前年同期比15.2%増)

<磁気ディスク用アルミ基板>

磁気ディスク用アルミ基板は、サーバー向け需要は堅調に推移しましたが、パソコン、デジタル家電向け需要が伸びず、前年同期並みとなりました。

<光学用機能フィルム>

光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の堅調な需要に支えられ、順調に推移しました。

③その他事業

売上高	18億26百万円(前年同期比15.5%減)
営業利益	1億86百万円(前年同期比40.8%減)

<梱包資材用帯鋼・機械器具・硬質合金>

梱包資材用帯鋼は、鉄鋼各社の自動車向けの減産と、鉄鋼輸出の伸び悩みにより、売上数量が前年同期を下

回りました。

コイル結束装置などの機械器具は、部品の売上は前年同期を上回りましたが、装置本体の売上が大幅に減少したため、全体としては前年同期を下回りました。

硬質合金は、主力の射出成形機部品の需要が低調に推移し、プラスチック金型も低迷したため、前年同期を大きく下回りました。

なお、各事業の売上高、営業利益は事業間の取引による金額を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ24億49百万円減少して、1,186億19百万円となりました。このうち流動資産は売上債権、たな卸資産等は増加したものの、現預金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ15億80百万円減少しました。固定資産は、有形固定資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億68百万円減少しました。

負債は、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ29億92百万円減少して406億43百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億43百万円増加して779億75百万円となりました。これは利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、東日本大震災が当社グループの業績に与える影響を見極めることが困難であったため未定としておりましたが、最近の状況および業績の動向を踏まえ、次のとおりといたしました。

①平成24年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	58,800	2,300	2,400	1,600	15.88
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	61,504	5,183	5,142	3,283	32.58

②平成24年3月期 通期連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	121,200	6,000	6,200	4,100	40.69
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	119,200	7,114	7,094	3,457	34.31

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

国内連結子会社において、従来、一部の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、有形固定資産の使用状況等に鑑み、費用配分の適正化を図るものであります。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,628	11,546
受取手形及び売掛金	21,393	21,867
たな卸資産	26,554	27,494
その他	3,896	3,970
貸倒引当金	△382	△368
流動資産合計	66,090	64,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,245	16,059
機械装置及び運搬具(純額)	16,865	16,131
土地	11,943	11,943
建設仮勘定	768	871
その他(純額)	1,524	1,475
有形固定資産合計	47,347	46,481
無形固定資産		
投資その他の資産	615	607
投資有価証券	2,924	3,090
その他	4,100	3,939
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,015	7,020
固定資産合計	54,978	54,109
資産合計	121,068	118,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,214	12,412
短期借入金	15,986	15,787
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	2,008	466
役員賞与引当金	68	—
災害損失引当金	88	76
その他	6,541	4,225
流動負債合計	40,908	32,967
固定負債		
社債	—	5,000
退職給付引当金	1,053	1,090
役員退職慰労引当金	28	13
PCB対策引当金	529	529
その他	1,117	1,042
固定負債合計	2,728	7,676
負債合計	43,636	40,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,040	5,040
資本剰余金	6	6
利益剰余金	71,515	71,995
自己株式	△19	△19
株主資本合計	76,542	77,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287	196
繰延ヘッジ損益	△10	7
為替換算調整勘定	△902	△808
その他の包括利益累計額合計	△624	△604
少数株主持分	1,514	1,557
純資産合計	77,432	77,975
負債純資産合計	121,068	118,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	30,190	29,177
売上原価	25,131	25,211
売上総利益	5,058	3,966
販売費及び一般管理費	2,532	2,631
営業利益	2,525	1,335
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	76	83
その他	71	122
営業外収益合計	162	220
営業外費用		
支払利息	69	53
社債発行費	—	90
その他	46	47
営業外費用合計	116	191
経常利益	2,572	1,364
税金等調整前四半期純利益	2,572	1,364
法人税等	929	492
少数株主損益調整前四半期純利益	1,643	871
少数株主利益又は少数株主損失(△)	53	△11
四半期純利益	1,589	883

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,643	871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△304	△91
繰延ヘッジ損益	101	17
為替換算調整勘定	244	157
その他の包括利益合計	41	83
四半期包括利益	1,684	955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,533	903
少数株主に係る四半期包括利益	151	51

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,836	4,219	2,133	30,190	—	30,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	641	—	27	669	△669	—
計	24,478	4,219	2,161	30,859	△669	30,190
セグメント利益	1,601	640	314	2,556	△31	2,525

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,592	4,789	1,796	29,177	—	29,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	533	—	30	563	△563	—
計	23,125	4,789	1,826	29,741	△563	29,177
セグメント利益	397	737	186	1,321	13	1,335

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。